



2019年3月29日

各 位

上場会社名 株式会社ジュンテンドー  
 代表者 代表取締役社長 飯塚 正  
 (コード番号 9835 東証第二部)  
 問合せ先責任者 取締役経理部長 松浦 誠  
 (TEL 0856-24-2400)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年10月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

2019年2月期通期個別業績予想数値の修正 (2018年3月1日~2019年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2018年10月12日発表)	43,800	250	200	200	24.80
今回修正予想 (B)	43,512	15	△32	△8	△1.04
増減額 (B-A)	△288	△235	△232	△208	—
増減率 (%)	△0.7	△94.0	△116.0	△104.0	—
(ご参考) 前期実績(非連結) (2018年2月期)	43,924	411	349	206	25.65

## 2. 修正の理由

当社は、2019年2月28日をもってドラッグストア事業をウエルシア薬局株式会社へ事業譲渡致しました。この譲渡により、事業分離における移転利益180百万円を特別利益に計上しましたが、一方、この事業譲渡を円滑に進める上で、商品を減らすための値引販売を増やしたことで売上総利益が減少し、また、譲渡対象外となった商品や資産のうちドラッグストア事業以外の事業では使用しないものの処分や解約をしたことにより事業整理損等27百万円の特別損失を計上することになりました。

また、不採算店舗であった仁豊野店を2019年1月13日に閉店し、同店の賃借契約を中途解約することを賃貸人と合意したため、債権(敷金・建設協力金)の放棄、固定資産の除却など、181百万円を特別損失に計上することになりました。

営業収益については、ドラッグストア事業や仁豊野店以外の既存店で暖冬のため灯油等の売上が前回の発表予想値を下回る見込みとなりました。

この営業収益の減少およびドラッグストア事業の事業譲渡に伴う値引販売のため、売上総利益が計画を下回り、営業利益、経常利益は前回の発表予想値を下回る見込みとなりました。

さらに、ドラッグストア事業の事業譲渡に伴う事業分離における移転利益を特別利益に計上しましたが、ドラッグストア事業の事業譲渡に伴う事業整理損や仁豊野店の閉店や賃借契約の中途解約に伴う特別損失を計上したため、当期純利益は前回の発表予想値を下回る見込みとなりました。

## 【注記事項】

上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は見通しと異なることがあります。

以 上